

はじめてのおるすばん

3年 物語文 10番

名前

「じゃあ、一時間ほどで帰るからね。かぎは、しっかりしめておくのよ。」お母さんがそう言って出かけると、家の中が急にしんとした。小学三年生のみきが、はじめて一人でおるすばんをする日だった。みきは、（へっちゃらだよ。）と、むねをはってみせた。

けれども、お母さんのすがたが見えなくなると、みきの心は、少しずつ小さくしぼんでいった。時計の音が、いつもより大きく聞こえる。カチ、カチ、カチ。その時、げんかんの方で「コトツ」と音がした。みきは、思わず体をかたくした。むねが、ときどきと早く鳴りだす。

みきは、ゆうきを出して、そっとげんかんをのぞいた。すると、ドアのすきまから入ってきた風で、かさが一本、たおれていただけだった。「なんだ、風か。」みきは、ほっと息をついた。そして、かさを元にもどすと、「わたし、一人でも大じょうぶ。」と、自分に言い聞かせるように、小さな声で言ってみた。

しばらくして、「ただいま。」というお母さんの声がした。みきは、げんかんまでいきおいよくかけて行った。「おかえりなさい。一人でも、へっちゃらだったよ。」そう言ったみきの顔は、少しだけお姉さんになったように、ほこらしげにかがやいていた。お母さんは、「すごいね。」と言って、みきの頭をそっとなでてくれた。

（1）この物語は、みきのはじめて何をする日のお話ですか。正しいものを一つえらびましょう。

ア 一人で学校へ行く日

イ 一人でおるすばんをする日

ウ 一人で買い物に行く日

エ お母さんと出かける日

（2）「むねが、ときどきと早く鳴りだす」とありますが、このときのみきは、どんな気持ちでしたか。書きましょう。

（3）げんかんで「コトツ」と音がしたのは、何が起きたからですか。文しよの言葉を使って書きましよう。

（4）お母さんが帰ってきたときのみきの様子として、正しいものを一つえらびましよう。

ア こわくて、なきそうになっている

イ まだ、ときどきしておびえている

ウ 一人でできて、ほこらしげにしている

エ 早くねむりたそうにしている

（5）この物語を読んで、あなたが考えたことを書きましよう。

例えば
「はじめは不安でも、ゆうきを出せばのりこえられると思った。」

「一人でできたときのうれしさが、よく分かった。」

はじめてのおるすばん

解答

3年 物語文 10番

名前

「じゃあ、一時間ほどで帰るからね。かぎは、しっかりしめておくのよ。」お母さんがそう言って出かけると、家の中が急にしんとした。小学三年生のみきが、はじめて一人でおるすばんをする日だった。みきは、（へっちゃらだよ。）と、むねをはってみせた。

けれども、お母さんのすがたが見えなくなると、みきの心は、少しずつ小さくしぼんでいった。時計の音が、いつもより大きく聞こえる。カチ、カチ、カチ。その時、げんかんの方で「コトツ」と音がした。みきは、思わず体をかたくした。むねが、どきどきと早く鳴りだす。みきは、ゆうきを出して、そっとげんかんをのぞいた。すると、ドアのすきまから入ってきた風で、かさが一本、たおれていただけだった。「なんだ、風か。」みきは、ほっと息をついた。そして、かさを元にもどすと、「わたし、一人でも大じょうぶ。」と、自分に言い聞かせるように、小さな声で言ってみた。

しばらくして、「ただいま。」というお母さんの声が出た。みきは、げんかんまでいきおいよくかけて行った。「おかえりなさい。一人でも、へっちゃらだったよ。」そう言ったみきの顔は、少しだけお姉さんになったように、ほこらしげにかがやいていた。お母さんは、「すごいね。」と言って、みきの頭をそっとなでてくれた。

（1）この物語は、みきはじめて何をする日のお話ですか。正しいものを一つえらびましょう。

ア 一人で学校へ行く日

イ 一人でおるすばんをする日

ウ 一人で買い物に行く日

エ お母さんと出かける日

（2）「むねが、どきどきと早く鳴りだす」とありますが、このときのみきは、どんな気持ちでしたか。書きましょう。

（例）一人で心ぼそく、物音がして、こわいと思う気持ち。

（3）げんかんで「コトツ」と音がしたのは、何が起きたからですか。文しよの言葉を使って書きましょう。

（例）ドアのすきまから入った風で、かさが一本たおれたから。

（4）お母さんが帰ってきたときのみきの様子として、正しいものを一つえらびましょう。

ア こわくて、なきそうになっている

イ まだ、どきどきしておびえている

ウ 一人でできて、ほこらしげになっている

エ 早くねむりたそうになっている

（5）この物語を読んで、あなたが考えたことを書きましょう。

（例）はじめは自分もどきどきするけれど、ゆうきを出せばのりこえられると思った。一人でできたときのうれしさが、みきの気持ちから伝わってきた。

例えば
「はじめは不安でも、ゆうきを出せばのりこえられると思った。」

「一人でできたときのうれしさが、よく分かった。」

解答・解説 はじめてのおるすばん（3年・物語文）

問1 イ

一つ目の段落に「はじめて一人でおるすばんをする日だった」とあります。

問2 （例）一人で心ぼそく、物音がして、こわいと思う気持ち。

お母さんが見えなくなって心が小さくしぼみ、物音に体をかたくしています。「ふあん」「こわい」などの気持ちが書けていれば正かいです。

問3 （例）ドアのすきまから入った風で、かさが一本たおれたから。

三つ目の段落に「風で、かさが一本、たおれていただけだった」とあります。

問4 ウ

「ほこらしげにかがやいていた」「少しだけお姉さんになったように」から、一人でできたことをほこらしく思っているとわかります。

問5 （例）はじめは自分もときどきするけれど、ゆうきを出せばのりこえられると思った。一人でできたときのうれしさが、みきの気持ちからつたわってきた。

みきの気持ちの変化と、自分の考えや体けんが結びついて書けていれば正かいです。